

市議会だより

No.211

平成30年11月10日発行

編集／発行

福井市議会だより編集委員会

福井市大手3丁目10番1号

TEL.0776-20-5506



福井国体 閉会式
(10月9日 福井県営陸上競技場)



福井国体 ライフル射撃
(10月3日～6日 福井県立ライフル射撃場)



福井国体 陸上競技
(10月5日～9日 福井県営陸上競技場)



福井国体 バスケットボール
(10月1日～5日 福井県営体育館)

↑ 福井しあわせ元気国体開催!

本県で50年ぶりとなる国体が開催され、本県選手団はさまざまな競技で大活躍を見せ、見事天皇杯と皇后杯を獲得しました。また、国体終了後には、障害者スポーツ大会も開催されました。

特集記事

- 福井市財政再建計画
..... 2・3ページ
- 検証！平成30年豪雪
..... 4・5ページ

議員23人が一般質問を行いました

詳細は8～13ページ

議員提出議案3件を審議しました

主な議案は6ページ
審議結果は15ページ

陳情2件を審議しました

審議結果は15ページ

市長提出の議案20件、
報告9件を審議しました

主な議案は6ページ
審議結果は14～15ページ

9月
定例会 (8月27日～9月19日)

施設管理経費の縮減

○再編を検討する施設

施設名	方向性
順化公民館	複合化
第2別館（賃貸）	集約化
企業局庁舎	集約化
清水総合支所	複合化
越廼総合支所	複合化
車両基地	移転
清水社会福祉センター	廃止
治水記念館	集約化
研修センター	廃止
マイドーム清水	廃止
農園施設マイファーム清水	廃止
活性化施設・一乗ふるさと交流館	転用
みやま長寿そば道場ごっつおさん亭	民間譲渡
すかっとランド九頭竜	民間譲渡
鷹巣荘	民間譲渡
美山森林温泉 みらくる亭	民間譲渡
国見岳休養施設（国見岳森林公園）	廃止
SSTランド	廃止
リズムの森	廃止
大安寺キャンプ場	廃止
川西テニスコート	廃止
美山庭球場「ウイंक」	廃止
本町通り地下駐車場	3施設を 集約化
大手駐車場	
大手第2駐車場	
清水高齢者福祉センター	廃止
美山楽く楽く亭	民間譲渡



美山森林温泉 みらくる亭

財政再建計画では、市有施設の統廃合や民間譲渡が計画されています。対象となっている27施設、延床面積約6万㎡のうち半分となる3万㎡の削減を目指すとしています。



市民クラブ
片矢 修一 議員

具体的な数字を示した事や、縮減の内容を細かく出している事は概ね評価するが、施設縮減は市民サービスの低下に繋がることから、今後もしっかり市民と話し合いながら決定すべき。また徹底した予算執行管理を行うべき。



日本共産党議員団
鈴木 正樹 議員

市の計画は、新幹線や中核市の予算を優先して、国保会計への支援削減や市民に親しまれる施設を統廃合、市の職員も削減するとしている。これでは市政の運営が逆立ちしている。新幹線中心から市民の暮らし中心への転換が必要。



公明党
下畑 健二 議員

公共施設の廃止、譲渡など、思い切って出してきたと評価しているが、計画期間を乗り切れば大丈夫だというメッセージと、財政再建後の前向きなビジョンを示し、市民の不安を払拭するべきだ。



無所属(青空の会)
近藤 實 議員

歳出に占める人件費の割合は大変重要な指標。福井市の人件費比率は31年度18%、それ以降も17%を超えると見込まれる。金沢市は29、30年度予算共に13.6%。①人口1,000人当たりの職員数を6.5人ほど(15%削減)にする②平均給与は600万円を切ることを提案する。

特集1 福井市財政再建計画

本市は、今年2月の大雪により多額の除排雪費用が必要になったことに加え、台風第21号による被害もあったことなどから、平成29年度一般会計決算が実質収支で赤字となりました。

そこで、今年8月に「福井市財政再建計画」を策定し、平成30年度から35年度にかけて財政健全化のためのさまざまな取り組みを行います。計画的に財政調整基金を積み立て、安定した財政構造の確立を目指します。その計画の主な内容と、それに対する私たち議員の意見を紹介します。

事業費の縮減

事務事業の見直し	合わせた効果額
補助金の見直し	69億3,400万円(H31-35)
繰出金等の見直し	効果額 7億円(H31-35)

全ての事業について、その必要性や緊急性、効果などを改めて検証した上で歳出のスリム化を図るとともに、団体等への補助金や特別会計への繰出金を見直し、縮減を行うとしています。

総人件費の縮減

人件費の見直し	効果額 20億3,200万円(H31-35)
---------	------------------------

本市の職員数は、行政区域面積が広いことや、「福井しあわせ元気」国体・障害者スポーツ大会の開催、中核市移行に向けた人員確保といった特殊事情などが影響し、類似団体平均を上回っています。また、国の給与水準との比較であるラスパイレス指数も平成29年4月現在で100.9と、類似団体に比べ高い水準となっています。これらについて、今後適正化を図るとしています。

私はいろ思ひ



一真会
今村 辰和 議員

今回、財政再建計画の対象となっている、廃止、あるいは民間譲渡施設については、まず、地権者の意見や思いをよく聞いていただき、廃止対象となっている事業についても地元の利用者や地権者の意見を聞き、地元で運営できるものについては財政を圧迫しない方法を模索して、今後の対応を十分に議論していただきたい。



志政会
藤田 諭 議員

財政再建計画では、全ての事業について、必要性や緊急性、効果などを改めて検証した上で見直し、施設については廃止、集約化、民間譲渡、コスト削減に向けて取り組むとしているが、十分な検討、丁寧な説明が必要。



一真会
田中 義乃 議員

財政再建計画は、今後の人口減少時代において、どうしたら市政を持続可能なものに変革できるか、行政サービスの低下をどのように乗り切るかなど、検討すべき課題を市民とともに議論し、市民とともに財政を再建するという意識が必要。



志政会
水島 秀晃 議員

経費の削減も大事かもしれないが、公共サービスの安定と、恒常的に歳入が増えていくよう、人口減少問題に対応するための高齢化・少子化対策をはじめ、商工業・農林業・漁業・ふるさと納税などで思いきった施策が必要。縮小より拡大を。

意見交換会

本市では、今後の除雪計画の参考とするため、今年7月、市内49地区において、自治会連合会長、公民館長、自治会長等の皆さんからご意見を伺いました。主な意見は次のとおりです。

○大雪における道路除雪作業に関する意見

- ・路面に圧雪が残ったり、除雪幅が狭く通行しにくいなど、除雪が不十分であった。
- ・国・県道と市道の交差点に雪が残っているなど、連携が取れていなかった。
- ・除雪協力企業間で進捗や仕上がりに差があるほか、除雪エリア境界がきれいに除雪されていない。
- ・除雪が遅い企業対策として、別の業者が応援に入るなど、連携がとれる体制づくりをしてほしい。
- ・地区内の交通量の多い主要な道路について、一般除雪路線を緊急確保路線に格上げしてほしい。

○除雪協力企業やオペレーター不足に関する意見

- ・除雪協力企業やオペレーターの不足への対策として、市職員に大型特殊免許を取得させ、除雪作業に従事させるべきである。

○情報発信と除雪作業の状況把握に関する意見

- ・いつ、どこに除雪車が来るか、またどのような指示を業者に出したか情報が欲しい。
- ・雪国の快適生活7カ条の知名度が低い。
- ・ホームページ等を活用して、路線図や作業状況等を掲載するなど、除雪情報を充実すべきである。
- ・除雪基地に電話が繋がらなかった。

○住民と連携した除雪に関する意見

- ・小型除雪機の購入補助制度を検討してほしい。

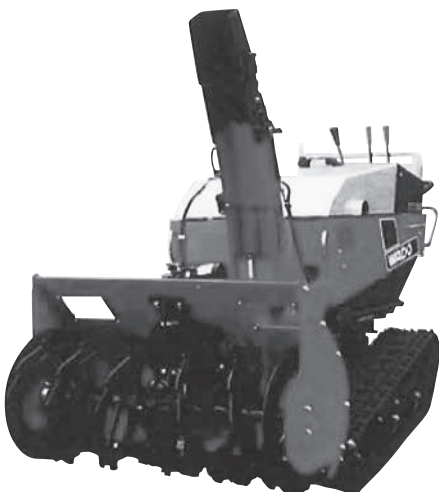
○その他

- ・地下水不足のためか、消雪装置がうまく稼働しなかった。

対策

- ・大雪時における各ブロック内の除雪協力企業間の相互協力体制を構築する。
- ・大雪時における除雪協力企業やオペレーターの不足に備え、建設業以外の業種にも対象を広げ、幅広い協力企業の参入を目指す。
- ・小型除雪機の購入補助を行い、狭小な道路や通学路となっている歩道について、市民協働による除雪を行う。
- ・国や県との情報連絡体制を強化し、国道や県道と市道の交差点の排雪作業において、雪の取り残しがないよう国や県との連携を密にし、除雪協力企業に対する指示を徹底する。

今回の大雪を教訓として、これ以外にもさまざまな対策が必要であると考えています。今年中には、市が新たな除雪計画を策定する予定ですが、議会としても、今後しっかりと議論を重ねてまいりたいと思います。



小型除雪機購入補助事業

除雪対策の一環として、今年度から、自治会等が道路や歩道等の除雪のため購入する小型除雪機の購入費用の一部を補助します。

○目的

自治会等協力路線等の狭小幅員の道路や歩道等の除雪を住民主体で実施できる環境を整備し、雪に強い地域づくりを促進する。

○対象者

自治会（複数の自治会が共同申請。公民館単位でも可）

○補助内容

補助上限額：80万円、補助率1/2

○申し込み・問い合わせ先

福井市役所本館4階 道路課 TEL0776-20-5560

特集2 検証!平成30年豪雪

今年2月4日頃より流れ込んだ強い寒気の影響で嶺北を中心に雪が降り続き、7日には積雪147cmを記録し、公共交通機関の運休や道路の通行止めなどが相次ぎました。

本市においても交通機関が麻痺し、また、生活道路の除雪が追いつかず一時的に孤立する集落も発生したことなどから、2月6日午後4時30分に災害対策本部を設置し、市民生活に大きな影響を及ぼす道路や路線の確保、ガソリン・灯油などの燃料や食料の安定供給を最優先に対応しました。しかし、国道・県道の除排雪がなかなか進まないことから生活道路の除雪が遅れ、一定のめどが立ったのは18日になってからでした。

今回の特集では、この豪雪をふりかえり、今後の除雪対策について考えたいと思います。

議会での主な質問と答弁

主な質問

- * 国や県・他自治体・外部団体とどのように連携し、要請を行ったのか。
- * 除雪本部と各除雪ブロックとの連携はどうだったのか。
- * 的確に気象情報を収集し、除雪出動の時間帯を柔軟に対応できないものか。
- * 除雪業者に委託している今の体制に加え、市の職員も除雪作業を行える体制づくりが必要ではないか。
- * 除雪業者として、今回のような大雪の際には追加措置で重機を持っている建設業以外の業者を応援体制に組み込めないか。
- * その日の降雪及び積雪状況に応じて各自治会及び自治会連合会と協議して新たに優先順位を定め、自治会の緊急確保路線として路線の確保に努めてはどうか。
- * 自治会等協力除雪路線については、作業の安全教育、講習も含めて小型除雪機の貸与や購入補助金の制度を検討すべきだ。
- * 車の使用規制への対応はどうだったのか。
- * 排雪となればダンプカーの手配が必要となる。排雪は道路状況でも変わるので、業者に一定の裁量があってもいいのではないか。また、事前に何力所かの雪の仮置き場を降雪前から探し準備しておくことで、除雪が効果的に早くできることになる。



主な答弁

- * 現在不足している除雪協力企業の拡大を図るため、建設業以外の異業種参入を呼びかけ、オペレーターや除雪機械台数の増強を図る。例えば農業法人の参入を呼びかける。
- * 細分化した除雪担当エリアをブロック単位にグループ化し、一元的な管理体制を構築するなど、協力企業の意見も取り入れながら作業内容を見直す。
- * 一元的な管理体制を構築した上で、公民館との協議、自治会との意見交換会、さらには出前講座を行う。
- * 通常の除雪体制から大雪時の除雪体制について、一般社団法人福井地区建設業会や除雪協力企業の方々と意見交換をし、それをもとにシミュレーションを行う。
- * 坂井市や鯖江市など、近隣市町との除雪に関する相互応援について検討する。
- * 排雪場所の確保として大雪時は公園を開放する。除雪車両が入れるよう段差の解消やフェンスの構造を可能な限り改修する。
- * 自治会等協力除雪路線については、自治会で除雪できない場合はエリアをグループ化して、その中で機械で対応できる場所は少しずつ対応する。また、新たにダンプカー等の手配も含めて排雪も考える。
- * 自治会等協力除雪路線の小型除雪機の購入補助、貸し出しについては、作業時の安全対策や保管場所の確保の課題も含めて検討していく。



主な議案

今回議決した主な議案等は次のとおりです。議案等の審議結果は、14～15ページに掲載しています。

平成30年度補正予算

今回の補正予算は、一般会計で5億2,987万5千円を減額するもので、補正後の一般会計予算額は、1,048億1,493万8千円となります。

また、特別会計では、介護保険特別会計で35万円を減額、集落排水特別会計で280万円を増額し、全会計で補正後の予算額は、2,053億7,264万3千円となります。

○一般会計補正予算

西開発地区から中心市街地への自動車交通の円滑化を図るため、えちぜん鉄道高架化事業にあわせ、都市計画道路を整備する「西開発周辺道路整備事業」、住民主体で除雪作業が実施できる環境を整備するため、小型除雪機の購入に対し補助を行う「小型除雪機購入補助事業」、平成30年7月の豪雨により被災した林道、農地及び農業施設の被災箇所の復旧を行う「林業施設災害

建築許可申請に関する審査手数料を定めるものです。

人事案件

○教育委員会委員

平成30年9月30日をもって任期満了となる木村敦子氏を引き続き同委員に任命することに同意しました。

○公平委員会委員

平成30年9月30日をもって任期満了となる金井亨氏を引き続き同委員に選任することに同意しました。

○固定資産評価審査委員会委員

平成30年9月30日をもって任期満了となる増田健治氏を引き続き選任することに同意しました。

○人権擁護委員

平成30年12月31日をもって任期満了となる高務智子氏を引き続き同委員に推薦し、同日任期満了となる委員の後任として、山本利幸氏を推薦することに意見を求められ、異議がない旨を答申しました。

市会案（議員提出議案）

地方自治法第99条の規定により、次の意見書を内閣総理大臣ほか、関係機関に提出しました。

○地方財政の充実・強化を求めめる意見書

○地方公務員法及び地方自治法の一部改正における新たな一般職非常勤職員の処遇改善と雇用安定に関する意見書

○下水道施設の改築に係る国庫補助の継続に関する意見書

決算特別委員会を設置

平成29年度各会計（一般・特別・企業）決算等について審査するため、10人で構成する決算特別委員会を設置し、委員の選任を行いました。

《委員構成》（敬称略）

- 池上 優徳 ○中村 綾菜
 - 加藤 貞信 見谷 喜代三
 - 堀川 秀樹 島川 由美子
 - 泉 和弥 水島 秀晃
 - 八田 一以 瀧波 滋
- （○は委員長、○は副委員長）

委員会審査

各委員会の委員長報告から、主な質疑等の要旨を紹介いたします。（日程順に掲載）

新幹線・並行在来線等対策特別委員会

《並行在来線の経営・運行に関する基本方針》

問 並行在来線が経営分離された後、運行ダイヤに快速を取り入れることについて、ルールや条件はあるのか。

答 条件等は知り得ていないが、並行在来線会社の設立後、その社内で検討されていくものと考えている。

要望

スケジュールが進むにつれて、県の考え方が非常に重要になってくることから、県としっかり議論し、県の考え方を本委員会でも明確に報告してほしい。また、我々委員も調査研究等を重ねるが、市においても全国の成功事例と失敗事例を研究するなどしていただき、本委員会ですっかり議論できるようにしてほしい。

条例

○福井市自転車等駐車場の設置及び管理に関する条例の一部改正について

福井市えち鉄福井口駅自転車駐車場を新たに設置するものです。

○福井市手数料徴収条例の一部改正について

建築基準法の一部改正に伴い、建築物の敷地と道路との関係の建築認定申請に関する審査手数料及び仮設興行場等

《並行在来線の経営分離》

問 並行在来線が経営分離されると、利用者が少ないところは本数が減り、交通弱者などの本数に必要とする人が利用できなくなる恐れがあることから、利用促進策についてしっかりと議論して進めるべきと考えるがどうか。

答 バスや地方鉄道など、二次交通のダイヤとの組み合わせについて検討しながら利便性向上を図り、乗って残していく形を考えたい。

《収支予測調査・経営基本調査結果》

問 初期投資費用はできるだけ縮減すべきと考えるが、あいの風とやま鉄道において、初期投資費用が、試算額に対して約100億円減少している原因をどのように分析しているのか。

答 あいの風とやま鉄道においても、本県と同様に先行事例を参考に試算し、JR西日本と協議する中で、不要な資産を除き、また、個別の交渉などで減少したものとと思われる。本県においても、JR西日本との協議の中でできるだけ経費を抑えるよう協議されるものと考えている。

総務委員会

問 《地方公務員法及び地方自治法の一部改正における新たな一般職非常勤職員の処遇改善と雇用安定に関する意見書提出》

今後の国の動向を見きわめる必要があることから趣旨採択にすべきとの意見や、新しい制度のもとで非常勤職員が位置づけられる機会を捉えて、財源措置や法整備を求めることが必要であることから採択すべきとの意見が出された。

問 《財産の取得について（CD—I型災害対応特殊消防ポンプ自動車）》

問 今回配備するものと同じ型の消防自動車は各分署に配備されているのか。

答 今回のように900リットルの水槽を装備している車両は初めてであるが、CD—I型の消防自動車は16台あり、主に分署や分遣所に配備している。

建設委員会

《小型除雪機購入補助事業》

問 想定以上の申請があった場合、どのように対応するのか。

答 7月に行った各地区との意見交換会等での話をもとに予算計上したものであり、これを超える申請については、あらためて協議していきたい。

要望 今年の大雪においても、住民自らの除雪が地域のスムーズな除雪にも繋がったため、さらに自助、共助を押し進める取り組みをお願いしたい。

問 《福井市自転車等駐車場の設置及び管理に関する条例の一部改正》

問 今回設置した福井市えち鉄福井口駅自転車駐車場は、駅周辺の放置自転車の解消も含め、利用者の需要を満たすものなのか。

答 現在、福井口駅における駐輪場の収容台数は十分だと考えるが、今後、利用状況を見ながら、その適正を判断していく。また、放置自転車については、自転車利用者へのマナー啓発も重要であるため、福井国体の開催中、福井駅周辺を中心に指導や管理を徹底的に実施し、その状況や結果を踏まえた上で、今後の対策を考えていきたい。

教育民生委員会

《教育費》

問 学力体力ともに非常に高い本市の教育に対し、予算が削減されることで支障はないのか。

答 全て子どもたちの教育のために必要な予算と考えられており、今回不急なものについて削減することとなったが、当然、子どもたちの教育については各学校の先生方も熱心に取り組んでおり、子どもたちの素晴らしい未来に影響がないよう、しっかりとバックアップしていきたい。

問 《災害時マンホールトイレ整備事業》

問 これまでの進捗や今後の計画は。

答 平成24年度より設置し、現在14カ所に設置している。第七次福井市総合計画では、平成33年度までに34カ所を設置する予定である。

問 《平成30年度福井市介護保険特別会計補正予算》

問 介護認定審査会の委員報酬における減額内容は。

答 昨年、要支援の継続、更新申請の有効期間が12カ

月から24カ月に延びたことで、審査会の回数が減り、それに伴う委員報酬も減額することが可能となった。

経済企業委員会

問 《みらくる亭大規模改修事業》

福井市財政再建計画で民間譲渡の方向性が示されているみらくる亭の大規模改修が今回の縮減により先送りとなっているが、改修をせざるに民間に譲渡することができるとの可能性がある。

答 民間譲渡の可能性を把握するため市場調査を実施し、その結果を踏まえて改修についても検討していく。

問 《農林水産施設災害復旧費》

問 災害復旧のため毎年のように予算の補正を行っているが、当初予算を増額して対応すべきではないか。

答 厳しい財政状況であるため、災害が発生し必要となった場所に適切な予算を確保していくことがよいと考える。財源については、できるだけ国の補助金を活用できるように取り組んでいる。

一般質問

当面する諸問題について市の考え方を質問するため、9月3日から5日までの3日間、23人の議員が一般質問を行いました。

※ 議員名の前の番号は質問順、()内は会派名、質問内容の掲載は大項目のみです。

(敬称略)

<p>① 今村 辰和 (一真会)</p> <p>1 福井市財政再建計画について 2 福井しあわせ元気国体開催を間近に控えた取り組みについて</p>	<p>② 藤田 諭 (志政会)</p> <p>1 福井市財政再建計画について 2 災害に対する取り組みについて</p>	<p>③ 片矢 修一 (市民クラブ)</p> <p>1 福井市財政再建計画について 2 通学路の安全対策について 3 国体・障スポでのおもてなしについて</p>
<p>④ 下畑 健二 (公明党)</p> <p>1 福井市財政再建計画について 2 福井市国土強靱化地域計画(案)について</p>	<p>⑤ 福野 大輔 (一真会)</p> <p>1 学校プール開放事業について 2 本年度中止・縮減した事業について</p>	<p>⑥ 瀧波 滋 (志政会)</p> <p>1 除雪対策について 2 福井市財政再建計画について</p>
<p>⑦ 堀川 秀樹 (市民クラブ)</p> <p>1 障がい福祉サービスにおける地域活動支援センター事業の再編について 2 震災による被害を受けた自治体の経験から学ぶ福井市の備えについて 3 水害による被害を受けた自治体の経験から学ぶ福井市の備えについて 4 駅前電車通り北地区市街地再開発事業について</p>	<p>⑧ 西村 公子 (日本共産党議員団)</p> <p>1 福井市財政再建計画について 2 平成30年度中止・縮減事業について 3 生活保護行政の改善について</p>	<p>⑨ 池上 優徳 (一真会)</p> <p>1 自然災害への対応について</p>
<p>⑩ 伊藤 洋一 (志政会)</p> <p>1 インバウンドについて</p>	<p>⑪ 水島 秀晃 (志政会)</p> <p>1 教育現場における危機管理について 2 「福井しあわせ元気」国体・障害者スポーツ大会の文化プログラムについて 3 福井フェニックスまつりの現状及び問題点と今後について</p>	<p>⑫ 奥島 光晴 (一真会)</p> <p>1 青少年の健全育成について 2 ブロック塀の安全対策について 3 幼児教育・保育の無償化について</p>
<p>⑬ 泉 和弥 (一真会)</p> <p>1 SNS等を活用した地域コミュニティの活性化について 2 トップランナー方式導入による影響について 3 福井市立地適正化計画について 4 施設園芸のICT化について</p>	<p>⑭ 中村 綾菜 (市民クラブ)</p> <p>1 近年の豪雨災害を受けての検証について 2 再生可能エネルギーの促進について 3 婚活支援について 4 認可外保育施設や企業内保育施設への支援について</p>	<p>⑮ 田中 義乃 (一真会)</p> <p>1 福井市財政再建計画について 2 総合窓口のサービス向上について 3 学校での水道直結給水について</p>
<p>⑯ 八田 一以 (一真会)</p> <p>1 中核市への移行と外部からの評価について</p>	<p>⑰ 吉田 琴一 (市民クラブ)</p> <p>1 会計年度任用職員制度の取り組み状況について 2 特別支援学校及び学級について 3 学校プール開放の成果と課題について 4 学校給食調理業務委託事業について 5 大雪被害に対する寄附やふるさと納税の受け入れ状況について</p>	<p>⑱ 野嶋 祐記 (志政会)</p> <p>1 ふるさと納税と「不死鳥ふくい ふるさと応援寄付」について 2 移住相談について 3 防犯カメラの設置について 4 福井駅西口周辺での再開発等のまちづくりについて</p>
<p>⑲ 鈴木 正樹 (日本共産党議員団)</p> <p>1 福井市財政再建計画の問題点について 2 北陸新幹線延伸と特急存続について</p>	<p>⑳ 皆川 信正 (一真会)</p> <p>1 国、県に対する重要要望事項について 2 手話言語条例制定について 3 危険な空き家について 4 NHK大河ドラマの誘致について</p>	<p>㉑ 近藤 實 (無所属 (青空の会))</p> <p>1 下水道使用料の値上げを2年間延期すべきことについて 2 水道料金の値上げを2年間延期すべきことについて 3 福井市財政再建計画(人件費比率)について</p>
<p>㉒ 島川 由美子 (公明党)</p> <p>1 地域包括ケアシステムの推進について 2 高齢者肺炎球菌ワクチン定期予防接種について 3 学校規模の適正化について 4 障害者雇用率について</p>	<p>㉓ 石丸 浜夫 (志政会)</p> <p>1 平成30年7月豪雨に伴い被災した道路の復旧について 2 福井市財政再建計画における団体等への補助金の10%削減について 3 平成30年度中止・縮減事業の減額補正について</p>	

一般質問要旨



いまむら しんかず
今村 辰和 議員
一真会

福井市財政再建計画について

質問

市はこの度、27の市有施設を再編対象とする計画を示しているが、今後、施設の利用者、地権者、地元などの各関係者にはどのように理解を求めているのか。

回答

今後は、まず施設マネジメントアクションプランの案を作成し、パブリックコメントや説明会を行う中で、利用者や地元の方々も含めて関係者の意見を伺っていく。その上で来年10月をめぐりにアクションプランを策定し、施設ごとの方向性を示していく。

財政再建計画を実現するためには、アクションプランを確実に実行していくことが不可欠であるため、地権者との調整等については、理解を得られるよう、時間をかけて丁寧に説明していく。



ふじた さとし
藤田 諭 議員
志政会

福井市財政再建計画について

質問

施設については施設マネジメントアクションプランを策定し、個々の施設の方向性を定め、廃止、集約化、民間譲渡などに向けて具体的に取組むとしているが、類似施設についてはどのように比較し、廃止を検討しているのか。

また、施設の民間譲渡や廃止についてはどのように進めていくのか。

回答

類似施設については、地域性や採算性、利用圏域などの状況を踏まえ検討していく。民間譲渡については、サウンディング型市場調査を実施し、民間事業者との対話を行う中で実現性を検証していく。また、廃止については基本的には施設を解体し、土地の売却や借地の場合には地権者と協議の上、返還を検討していく。



かたや しゅういち
片矢 修一 議員
市民クラブ

福井市財政再建計画について

質問

平成30年度当初予算では除雪対策費が約4億円となつているが、平年並みの7億円あるいはそれ以上の金額が必要となつた場合、その財源はどこにあるのか。繰越金がないため、再び赤字決算となるのではないのか。

回答

昨年度の赤字決算を受け、今年度は約12億円の財源不足が見込まれている。しかしながら、事業の中止・縮減と人件費の削減により、約10億円の財源を生み出すこととしている。さらに、徹底した予算執行管理や歳入の確保に努めることで、収支の均衡を図っていく。

これらの取り組みを行うことで、平年並みの雪に対しては、十分対応できると考えている。



しもばた けんじ
下畑 健二 議員
公明党

公共温泉施設の民間譲渡について

質問

民間譲渡に関しては、まず手を挙げてくれる事業者がいるのかどうか調査が必要であり、また、現在の指定管理者への説明や、雇用されている従業員への不安解消など慎重な取組が必要になるが、民間譲渡の課題と今後のスケジュールは。

回答

民間譲渡には、譲り受ける事業者があるか、安定した経営を継続できるか、借地の場合に地権者の理解を得られるかなどの課題がある。

今後、民間事業者と事前に対話を行う中で実現性を検証していくとともに、事業者の意見を踏まえ、公募の条件等を設定し、民間譲渡を図る。また、先進自治体の民間譲渡に向けた取組についても研究する。



ふくの だいすけ
福野 大輔 議員
一真会

学校プール開放事業について

質問

東郷小学校で女子児童がおぼれる事故が起こった。教育委員会としては注意喚起、再発防止策等何らかの対応はとつたのか。

また、来年度のプール開放に向けてどのように考えているのか。

回答

事故発生後、直ちに学校を通じて各PTAなどにプール監視業務の徹底について通知するとともに、全学校に職員が出向き、監視体制の確認や注意喚起を再度行うことで再発防止に努めた。

来年度のプール開放にあたっては、今後、PTA等にアンケート調査を実施し、その結果や各学校で取り組まれた事例なども踏まえ、開放方法や日数、監視員の人材確保も含めて検討する。



たきなみ しげる
瀧波 滋 議員
志政会

福井市財政再建計画について

質問

福井市財政再建計画の具体的方策の6項目のうち、歳入の確保等として挙げられているジュニアグラウンド、大和紡績跡地、市庁舎地下食堂スペースの3施設の方性は。

回答

ジュニアグラウンドについては用途を廃止したうえで、公募条件を整理・設定し売却を進める。
また、大和紡績跡地と市庁舎地下食堂スペースについては、民間提案制度を活用して、民間事業者からの提案を求めながら積極的に貸付を進める。



ほりかわ ひでき
堀川 秀樹 議員
市民クラブ

障がい者福祉サービスにおける地域活動支援センター事業の再編について

質問

センター設置場所について利用者の利便性を考慮することだが、南西エリアの利便性は向上するのか。また、利用者ファーストの視点から福祉サービスの重複利用を認めるのか。基準を上回る利用者がある施設は費用もかさむため、委託料を加算すべきでは。

回答

設置場所については、公共交通機関を利用して通所できる場所への設置を要件とした。
重複利用については、精神障がいのある方を受け入れるセンターは土曜日と週1回以上の夜間の開所を行うこととし、平日の日に就労系センターを利用した方が利用できるようにした。
委託料については、利用者が想定を大きく上回る状況が続く場合、必要な見直しを考えていく。



にしむら きみこ
西村 公子 議員
日本共産党議員団

中止・削減事業の市民生活関連予算の減額中止を要求

質問

重度障がい者住宅改造助成事業770万円を30%減額することは最近の実績を見ても市民の要望に応えられないのではないか。

回答

年度内の住宅改造が必要な方を優先的に助成し、それでも予算の不足が生じた場合はできる限り対応するよう検討する。
公立保育園の整備については、財源不足による事業見直しにより、現状等を確認した上で、麻生津保育園の外壁改修・屋上防水工事の実施を見送り、次年度に整備することとした。今後必要な公立保育園の整備を進め、安全で快適な保育園の提供に努める。



いけがみ まさのり
池上 優徳 議員
一真会

自然災害への対応について

質問

災害時に大多数の人がショック状態や凍りつき症候群に陥ったり、正常性バイアス等の認知バイアスで避難が遅れると言われている。従来の常識が通用しない自然災害が頻発する中、効果的な避難行動に結びつけるための方策は。

回答

災害時に適切な避難行動をとるには、本人が認知バイアス等を理解し、理性的力で自らをコントロールすることが必要だと言われている。
今後は各地区での防災研修会や出前講座等で、一般的な防災対策のほか、災害時に陥る認知バイアス等について説明し、理解を深めることで効果的な避難行動がとれるよう努める。



いとう よういち
伊藤 洋一 議員
志政会

インバウンドについて

質問

本市としてインバウンドをどう捉えているのか。また、これまでのインバウンドの取り組みとその成果について伺う。

回答

インバウンド観光は、本市の観光振興を進める上で重要であると認識しており、福井市観光振興計画においても、インバウンド観光の推進を主要な施策として位置づけている。
これまでの取り組みとして、主に台湾、タイ、フランスをターゲットに実施している。このうち台湾では、現地旅行会社への営業活動や旅行博への出展などにより観光PRを実施した結果、足羽川の桜並木散策や工場体験などを観光コースに入れた旅行商品の造成に結びつき、約1,000人の誘客につながった。



みずしま ひであき
水島 秀晃 議員
志政会

福井フェニックスまつりの現状及び問題点と今後について

質問

福井フェニックスまつりの3日間の観客数と、会場を変更したYOSAKOIイッチョリイ等での駐車・停車場所や出演者の待機場所の問題点や暑さ対策について伺う。また、来年以降の見解は。

回答

観客数は14万8000人。駐車場所等では大きな混乱はなかったが、会場がコンパクトになったため、出演者が待機場所から会場にはみ出し、観客の通行の妨げとなった。
暑さ対策としては、新聞広告等で注意を促したほか、開始時間の変更やミストシャワーの設置、出演者や観客への飲み物等の提供を行った。今後は、市民のみならず観光客にも楽しんでいただけるまつりとなるよう、現在設置している見直し検討会議において方向性を示していく。



おくしま みつはる
奥島 光晴 議員
一真会

幼児教育・保育の無償化について

質問

国が進めようとしている幼児教育・保育の無償化を契機に、学力・体力ともに優れた子どもたちを育てる本市の魅力をますます高めていくべきと考えられるが本市の考えは。

回答

幼児教育・保育の無償化により、経済的負担は軽減されるが、子育て世代の負担を軽減するには、待機児童を出さないための受け皿を確保し、安心して子どもを預けられる保育環境の整備を進めることも大きな課題である。
待機児童ゼロを維持し、さらに質の高い幼児期の教育・保育の総合的な提供や地域の子ども・子育て支援の充実に取り組み、本市の強みである全国トップクラスの子育て環境をさらに発展させていく。



いずみ かずや
泉 和弥 議員
一真会

施設園芸のICT化について

質問

施設園芸のICT化は、施設の技術革新や収益アップにとどまらず、他事業や流通分野への展開が可能となり、農業経営の多角化も夢ではない。

本市の現状と今後の予定は。また、今後どのような支援が可能と考えられるか。

回答

今年度、国の事業を活用し、温度や湿度、CO2濃度等をコンピュータで一元管理する自然光利用型連棟ハウスを整備する。
施設園芸のICT化は多大なコストを要するため、なかなか導入に踏み切れないのが現状であるが、意欲ある農業者に対し、先進事例を紹介するほか、作付けする品目や経営面積などの提案に加え、最適な補助メニューを提示するなど、継続的に農業収益を確保できるように支援していく。



なかむら あやな
中村 綾菜 議員
市民クラブ

近年の豪雨災害を受けての検証について

質問

気象情報を的確に判断し、いち早く避難勧告等を出すべきと考えられるが、そのタイミングは。また、災害時に市民が速やかに避難できるように積極的に避難を誘導できるキーパーソンを育成するほか、市民への意識啓発も積極的に行うべきと考えられるがどうか。

回答

随時更新される気象情報を的確に分析し、急激な気象の変化に対応した防災対策に努めるとともに、策定されたマニュアルに基づき、気象予測等を視野に入れた発令を行っている。
各自治会にある自主防災組織を強化し、住民に避難を促す組織となるように努めているほか、本市が経験してきた災害のパネル展、防災フェアや出前講座などの機会を通じ、市民の防災意識の向上を図っていく。



たなか よしのり
田中 義乃 議員
一真会

福井市財政再建計画について

質問

財政再建計画の中で、行政サービスの低下をどのように乗り切るのか。

検討すべき課題を市民とともに議論すべきで、市民ともに財政を再建するという意識が必要だと思いがどうか。

回答

事業費の縮減については、必要性、手法、サービス水準等を十分に検証した上で、できる限り市民生活に影響が及ばないよう努める。
また、市民とともに財政を再建するという意識は必要だと考えている。この計画はかなり厳しい内容だが、実行しなければ本市の財政の健全化は果たせないと考えているため、市民にご理解をいただきながら財政再建に取り組んでいく。



はった いちい
八田 一以 議員
一真会

中核市への移行と外部からの評価について

質問

福井県からの指摘に対する見解と、財政再建計画及び中核市への移行について、市の覚悟と決意をお聞きたい。

また、外部監査制度の導入スケジュールはどのようになるのか。

回答

県から指摘のあった職員数やラスパイルズ指数、市税徴収率等については財政再建計画に反映した。同再建計画は、本市の今後の発展のため、確実に進める。また、中核市に移行することで、行政機関としての機能を高め、より市民目線に立った質の高い行政サービスを提供できるよう全力を尽くしたい。

外部監査制度の導入については、条例の制定に係る議案を12月定例会に提案し、翌年4月1日付けでの施行を予定している。



よしだ きんいち
吉田 琴一 議員
市民クラブ

学校プール開放の成果と課題について

質問

学校プール開放については、ボランティアの協力体制のもと実施したが、期間全体で何人の利用があったのか。また、総評としてどのように評価しているのか。

回答

開放日数は延べ480日、利用児童人数は述べ18,999人で、1校の1日当たりの平均は約40人であった。

今年度は、これまでより大勢の監視員を配置する学校が多く、結果的に監視体制は強化されたと認識している。また、児童の保護者や地区の方が監視業務を行うことで、例年以上に児童に対する目配りが図られていたと考える。しかしながら、監視業務に従事した方々の精神的な負担や、人員が確保できずに開放できない学校があったなど、監視員の人材確保については課題があると考えている。



のじま ゆうき
野嶋 祐記 議員
志政会

福井駅西口周辺での再開発等のまちづくりについて

質問

駅前電車通り北地区市街地再開発事業の進捗状況と、今後の進め方について本市はどのように関わっていくのか伺う。

また、市が支援しているその他の再開発事業等の事業進捗や大手2丁目の計画の進捗状況は。

回答

駅前電車通り北地区市街地再開発事業は、来年3月に都市計画決定を予定し、本市としても北陸新幹線福井開業前の完成を目指す民間主体の事業であるため、スケジュール感を持つて事務手続きや関係機関への協議を進めていく。

その他の地区のうち中央1丁目10番地区は、現在、既存建物の解体中である。来年3月に本体工事に着手し、2020年秋の完成を予定している。大手2丁目のエリアについては、一部自治会で再開発に関する勉強会を開催している状況である。



すずき しょうじゅ
鈴木 正樹 議員
日本共産党議員団

財政再建計画を市民の立場で見直せ

質問

財政再建計画は新幹線建設に関わる支出は温存し、市民サービスに関わる予算を削減したり、施設を統廃合するといった内容である。新幹線福井駅舎の増改築の規模縮小や新文化会館の大ホール2,000席の計画を縮減するなどして、新幹線に関わる支出こそ減らすべきではないか。

回答

北陸新幹線福井開業に関連した事業については、地域の活力やにぎわいを創出するために極めて重要な事業であり、着実に実施していきたいと考えている。計画を実施する中で、市民生活への影響はできる限り抑えたいが、将来にわたって持続可能な市政運営を支えるための財政基盤を構築するため、市民の皆様にもご理解とご協力をいただけている。



みながわ のぶまさ
皆川 信正 議員
一真会

手話言語条例制定について

質問

国体・障スポを控えた中、私は3月定例会でも早く条例化すべきと求めたが、半年が経過した。4月の中核市移行まで残り半年のこの機会に改めて福井市の「手話言語条例制定」についての見解を求める。

回答

国体・障スポの融合で高まった機運を契機として、県との連携を図りつつ、手話やその他の障がい特性に応じたコミュニケーション手段の普及啓発や理解促進を図るための条例を制定したいと考えている。

今後、市民への意識啓発を図るとともに、当事者団体等との意見交換会やパブリックコメントなどを実施し、中核市移行に合わせ来年4月1日の施行を目指している。



こんどう みのる
近藤 寛 議員
無所属（青空の会）

下水道使用料の値上げを2年間延期すべきことについて

質問

今後3年間の経常利益見通しだが、私の試算では平成30年度8億6,600万円、平成31年度8億3,600万円、平成32年度8億600万円である。今後も、高い利益が予測される。値上げをする根拠を見出せるのか。

回答

下水道事業会計は、経常的収支のほか、建設投資や企業債の償還金等からなる資本的収支があり、使用料の改定においては、この2つの収支を合わせて判断する必要がある。

今後、資本的収支の不足額の増大が見込まれる中、資本費平準化債の借入れができなくなり、この不足額を全額使用料収入で賄わなければならないため、必要となる使用料収入が急激に増大する。これに備え、使用料の改定は必要である。



しまかわ ゆみこ
島川 由美子 議員
公明党

地域包括ケアシステムの推進について

質問

高齢者が住み慣れた地域で切れ目のないサービスを受けることができる地域包括ケアシステムは、地域住民同士の支え合いと高齢者自身の社会参加が大切となるが、この支え合いの体制をどう作るのか。

回答

住民が主体となった高齢者への支援の必要性について地域での理解が乏しく、ボランティアの担い手が少ないことが課題と認識している。

引き続き、自治会や民生委員、福祉委員を始めとした地域住民に対し、その必要性と制度の周知に努めていくことで、介護サポートグループややささえあいの家の活動地域や活動者の拡大を図っていく。



いしまる はまお
石丸 浜夫 議員
志政会

平成30年7月豪雨に伴い被災した道路の復旧について

質問

去る7月7日の西日本豪雨により越廼地区居倉町で発生した土砂災害により、現在も居倉・赤坂間で通行止めとなっている国道305号線は、地域住民の大切な生活道路であり、観光や運輸等の面においても重要な路線である。現在の復旧状況及び開通の予定は。

回答

現在、市道居倉赤坂線と市道赤坂城有線を迂回路として使用している。

県は、国道305号の被災箇所において斜面にある巨石の撤去作業を行うとともに、8月27日から海側に仮設道路として仮設橋の工事に着手した。仮設道路は今冬までに完了する予定であり、本復旧については来年度末までの完了を目指している。

予算特別委員会

各会派における
主な質疑内容を
紹介します。

一真会

見谷喜代三 堀江 廣海
八田 一以 池上 優徳
福野 大輔

○まちづくり

問 福井市財政再建計画では団体等への補助金の削減や市有施設の統廃合・民間譲渡などの方針が示されているが、この機に乗じて事業や施設を整理してしまおうとしているのではないか。

答 健全で持続可能な財政基盤を構築し、将来につけて残さない、安定した行政運営を行うついでにかなければならないという強い決意のもと、財政再建計画を策定した。

計画は厳しい内容であるが、現在の財政状況を認識していただくとともに意識の転換を図る機会であると捉え、市長自らが先頭に立ち、責任を持つて必要な取り組みを躊躇なく進めていく。

○本市の農業

問 今後の本市の農業戦略についてどのように考えているのか。

答 福井市農業活性化プランにおいて「稲作と園芸の複合経営への転換」を基本方針に福井市農林水産物ブランド化戦略を策定し、プランの目標達成に向け農地の集積、担い手の確保、法人化の促進、農林水産物のブランド化などに取り組んでおり、今後も継続していく。

また、小規模農家については、米や園芸作物の高付加価値化に取り組むことや、園芸作物の作付け促進、育成指導、経営アドバイザーを積極的に行うことが重要と考えている。

さらに、里地・里山活性化事業や6次産業化普及促進事業において、地域や家族で農業経営を行うモデルづくりも一つの手法と考えている。

現在、家族経営などの小規模農家には園芸施設や農業用

機械に対する支援を行っており、今後も県やJAと連携して農業者の意見を聞きながら継続的に対応していく。

志政会

伊藤 洋一 藤田 諭
後藤 裕幸 瀧波 滋

○学校再編計画

問 児童、生徒が減少している。学校の規模適正化を図るための統廃合の議論は、いま始める時期ではないのか。

答 今年9月には学校規模適正化検討委員会を設置し、本市の学校のあり方について諮問をさせていただく中で、学校規模の適正化の方向性や方法などについて、来年度末に答申を受ける予定である。

また、議論をする上では、地域や保護者の意見も取り入れ検討していきたい。

要望 学校の統合には相当な時間を要することもあるため、次世代を見据え、しっかりと協議してほしい。



市民クラブ

吉田 琴一 片矢 修一
村田 耕一

○会計年度任用職員の取り組み状況

問 2年後に会計年度任用職員制度が導入されるが、保育職場の正規職員と非常勤職員の人数の割合がほぼ同じであるという実態について、改善できないか。

答 今後の保育園の運営を考えると、できるだけ正規職員として働いていただくことが必要とも考えられるため、引き続き検討していきたい。

要望 今後、現場の職員の方と十分協議しながら対応してほしい。

公明党

下畑 健一 島川由美子

○防災対策

問 今後どのようなエリアを中心に無電柱化していく計画なのか。

答 道路管理者や電力事業者等で構成される福井県無電柱化地方部会が作成した無電柱化推進計画に沿って、本市が昭和61年度から実施し、

平成29年度までにJR福井駅周辺や養浩館庭園周辺等の整備が完了している。平成30年度からの第7期無電柱化推進計画に基づき、県がフェニックス通りの毛矢交差点から新木田交差点までの区間の無電柱化事業を実施していく。

日本共産党議員団

西村 公子

○除排雪経費の財源確保策

問 勝山市では平成29年度の大雪における除排雪経費のうち、約93%を特別交付税や臨時特別措置など、国からの財政措置で確保したとのことだが、本市は国に対する個別具体的な要望を行っていないのではないのか。

答 今年7月末に国に対して、除排雪等に要する経費が多額であった場合、特別交付税の算定額を引き上げるよう、大雪に対応できる財政支援の確立についてと題した特別重要要望を行った。

また、県に対しても新たな財政支援制度を創設するよう求めており、今後も様々な機会を捉えて制度改正を含めた除排雪経費の財源確保について要望を行っていく。

議案等の審議結果

(9月定例会)

議案番号	件名	審議結果	賛否が分かれた議案 (●印の賛否状況は15頁に掲載)
第74号議案	平成30年度福井市一般会計補正予算	9月19日 原案可決	●
第75号議案	平成30年度福井市介護保険特別会計補正予算	〃 〃	
第76号議案	平成30年度福井市下水道事業会計補正予算	〃 〃	●
第77号議案	福井市自転車等駐車場の設置及び管理に関する条例の一部改正について	〃 〃	
第78号議案	福井市手数料徴収条例の一部改正について	〃 〃	
第79号議案	財産の取得について (CD-I型災害対応特殊消防ポンプ自動車)	〃 〃	●
第80号議案	市道の路線の廃止について	〃 〃	
第81号議案	市道の路線の認定について	〃 〃	
第82号議案	町の区域を新たに画することについて	〃 〃	
第83号議案	字の区域の変更について	〃 〃	
第84号議案	平成30年度福井市一般会計補正予算	〃 〃	
第85号議案	平成30年度福井市集落排水特別会計補正予算	〃 〃	
第86号議案	平成29年度福井市各会計歳入歳出決算の認定について	〃 継続審査	
第87号議案	平成29年度福井市下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	〃 〃	

議案番号	件名	審議結果		賛否が分かれた議案 (●印の賛否状況は下部に掲載)
第88号議案	平成29年度こしの国広域事務組合CATV事業会計決算の認定について	9月19日	継続審査	
第89号議案	平成29年度福井市ガス事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	〃	〃	
第90号議案	平成29年度福井市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	〃	〃	
第91号議案	教育委員会委員の任命について	〃	同意	
第92号議案	公平委員会委員の選任について	〃	〃	
第93号議案	固定資産評価審査委員会委員の選任について	〃	〃	
第25号報告	専決処分の承認を求めることについて(平成30年度福井市一般会計補正予算)	〃	承認	
第26号報告	債権放棄の報告について	8月27日	受理	
第27号報告	公益財団法人福井市ふれあい公社の平成29年度決算に関する報告について	〃	〃	
第28号報告	公益財団法人福井市ふれあい公社の平成30年度事業計画等に関する報告について	〃	〃	
第29号報告	まちづくり福井株式会社の平成29年度決算に関する報告について	〃	〃	
第30号報告	まちづくり福井株式会社の平成30年度事業計画に関する報告について	〃	〃	
第31号報告	公益財団法人福井観光コンベンションビューローの平成29年度決算に関する報告について	〃	〃	
第32号報告	公益財団法人福井観光コンベンションビューローの平成30年度事業計画等に関する報告について	〃	〃	
第33号報告	平成29年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	9月19日	〃	
市会案第20号	地方財政の充実・強化を求める意見書について	〃	原案可決	
市会案第21号	地方公務員法及び地方自治法の一部改正における新たな一般職非常勤職員の処遇改善と雇用安定に関する意見書について	〃	〃	
市会案第22号	下水道施設の改築に係る国庫補助の継続に関する意見書について	〃	〃	

(9月定例会) 請願・陳情等の審議結果

請願・陳情番号	件名	審議結果		賛否が分かれた議案 (●印の賛否状況は下部に掲載)
陳情第10号	地方財政の充実・強化を求める意見書提出について	9月19日	採択	
陳情第11号	地方公務員法及び地方自治法の一部改正における新たな一般職非常勤職員の処遇改善と雇用安定に関する意見書提出について	〃	〃	

賛否が分かれた議案等一覧

賛 …賛成 反 …反対
 ※原則議長(青木幹雄)は採決に加わりません。

会派名 議員名	審議結果	一真会										志政会						市民クラブ				公明党		日共	本共	無所属 の会	無所属							
		皆川	見谷	今村	堀江	奥島	谷本	泉	田中	八田	池上	福野	加藤	石丸	野嶋	伊藤	藤田	後藤	水島	瀧波	吉田	堀川	中村	玉村	片矢	村田	下畑	島川	菅生	西村	鈴木	近藤	青木	
議案番号		信正	喜代三	辰和	廣海	光晴	忠士	和弥	義乃	一以	優徳	大輔	貞信	浜夫	祐記	洋一	諭	裕幸	秀晃	滋	琴一	秀樹	綾菜	正人	修一	耕一	健二	由美子	敬一	公子	正樹	實	幹雄	
9月定例会																																		
第74号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
第76号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
第79号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛

議会日誌 (平成30年7～9月)

7月18日	福井駅周辺整備・道路・河川事業要望活動(大阪市)
	日本海六県港湾都市議会協議会総会(富山市)
19日	全国広域連携市議会協議会正副会長・監事・相談役会議(東京都)
24日	全国市議会議長会第212回理事会(東京都)
27日	福井坂井地区広域市町村圏事務組合議会全員協議会、第172回定例会(あわら市)
30日	福井県市議会議長会県要望活動(県庁)
31日	北陸新幹線・福井駅周辺整備・道路・河川事業要望活動(東京都)
8月2日	議会運営委員会
6日	全国競輪主催地議会議長会近畿部会総会(福井市)
8日	北信越市議会議長会理事会(富山市)
9日	新幹線・並行在来線等対策特別委員会
10日	福井県市議会議長会定期総会
20日	議員全員協議会、議会運営委員会

9月定例会

8月27日	本会議
28日	議会運営委員会
9月3日	本会議(一般質問)
4日	本会議(一般質問)
5日	本会議(一般質問)、議会運営委員会
6日	総務委員会、建設委員会
7日	教育民生委員会、経済企業委員会
12日	予算特別委員会
13日	予算特別委員会
14日	議会運営委員会
19日	議員全員協議会、本会議



編集後記

37年ぶりにわが街を襲った大雪は、市民の生活に大きな爪跡を残し、雪国の恐ろしさをまざまざと見せつけられました。今回、財政再建と豪雪対策の特集を企画し、市議会としてどのように動いたか、行政がこれからどのように動いていくのかをなるべく分かりやすく市民の皆様へ伝えるよう、編集にこころがけました。

市議会、市職員、そして全市民が力を合わせ、不死鳥福井の誇りと不屈の気概で、これからも困難を乗り越えてまいりましょう。

(水島・瀧波)

請願・陳情等の提出について

請願・陳情などは、基本的にいつでも提出できますが、年4回(3・6・9・12月)開催される定例会で審議されますので、提出時期等詳細については事前に議会事務局へお問い合わせください。

訂正とお詫び

市議会だよりNo.210(8月10日発行)の記事の一部に誤りがありましたので、お詫びして下記のとおり訂正します。

○誤りがあった箇所

「議会報告会」記事のうち、4ページ「教育民生委員会関係」の殿下公民館の欄中

調査結果

○訂正内容

誤 **自治体**等が設置している有線放送については、各地区にて維持管理をお願いしたい。(以下略)

正 **自治会**等が設置している有線放送については、各地区にて維持管理をお願いしたい。(以下略)

傍聴してみませんか

傍聴できる会議

なお、本会議、予算特別委員会の模様は、ケーブルテレビのふくチャンネル121chで生中継及び録画放送されます。

本会議

定員97人 うち車イス6席

常任委員会

総務、建設、教育民生、経済企業

議会運営委員会

特別委員会

予算、新幹線・並行在来線等対策

議員全員協議会

次回は
12月定例会
です

日程は
ホームページに
掲載します



お問い合わせ

議会事務局 庶務課

0776-20-5506

※議場は席によって温度差があるため、傍聴の際には温度調整ができるような服装でお越しいただくことをおすすめします。